



こんどう きよし 近藤 聖 議員

問 町中心部の公園新設の考えは

答 候補地が無く現実的に難しい



管理が行き届いた真山親水公園（小田）

町管理公園の現状と課題

議員 町が管理する公園の現状と、課題や安全管理対策について伺う。

町長 町の設置条例により町が管理する公園は全部で19カ所ある。そのうち12カ所は自治会が管理・運営、5カ所は指定管理者に業務委託、2カ所は町が直接管理している。現状では特に課題があるとは思っていない。安全対策も、ハード面

の対策やソフト面での規制など、設置条例の規定により十分な留意がされており、各公園等は、適正な管理・運営がなされていると認識している。

議員 馬淵川さくら公園と中央公園はトイレを除いてほとんど利用者がいない。今後どのように運営していく方針か。また、中央公園に新しい遊具などを設置し町民が集いやすいようにしてはどうか。

建設水道課長 さくら公

園は、町行事などで利用するほかは利用者が少なく、遊具も老朽化していることは把握している。所有者の県と協議し、遊具撤去など、今後の対応に向けて検討していきたい。中央公園は、要望があれば検討する。駐車場部分の安全面が課題である。

議員 町中心部に公園の新設したり既存の公園の再整備をしたりするなど町民が集うことのできる場所を作る考えはないか。

町長 町中心部に条件が整うような公園の候補地は見当たらず、新たな公園の整備は現実的に難しく、考えていない。

副町長 DMOの部会検討を生かし、町全体を一つの公園と考え「歩きまわりたくなるまち」を実現するようにしたい。

議員 閉校・閉園した施設の遊具などの管理と今後の対応は。

総務課長 遊具が使用可能な施設は一カ所のみで老朽化が著しい。地区と相談をしながら今後の対応を考えていく。

公園整備の見通し

議員 上外川風力発電所稼働後の、観光客受け入れのための整備の進展は。

町長 発電所設置者の電源開発と協議を進めている。七月には「展望施設」が完成する予定である。

議員 国道から発電所への入り口看板を、見やすくする必要があるのでは。

農林環境エネルギー課長 発電所の存在が浸透してきたので現在の物で機能は果たせると考えている。

議員 大橋周辺の開発構想の提示はいつか。

町長 大橋完成後、町道浦子内線への接続道路整備を優先する。周辺整備計画の検討は現段階ではしていない。

問 ワクチン接種の現状と今後の取り組みは

答 接種は順調、柔軟に対応していく



えんどう ひろき 遠藤 裕樹 議員

ワクチン接種の状況

議員 ワクチン接種の状況とこれまでの問題点などは。

町長 4月下旬から町内医療従事者、施設の入所者、従事者、要介護者等から順次接種を開始。65歳以上の高齢者についても、5月1日以降に集団接種を実施し、6月20日には希望した高齢者におおむね2回目の接種を終えた。

この間、大きな混乱や問題もなく、迅速にワクチン接種を実施できた。接種率は90%弱で、高い結果となっている。6月末からは、接種対象を64歳以下に移行している。現在までの問題点については、様々な課題や問題などが想定されていたが、現時点では大きな問題もなく順調に進んでいると認識している。

年少者の取り扱い

議員 年少者への接種と接種者への証明は。

町長 16歳から64歳以下の方々の集団接種は、8月中に2回目の接種を終える計画である。そうした中、接種年齢が12歳以上に引き下げられたことに伴い、学校、保護者、医療機関とも連携、調整を図り、検討を進めている。15歳以下への接種については、保護者の同意が必要となることや接種が努力義務である



スムーズに接種できるよう工夫された会場

接種者への証明は、クーポン券の右側の接種済証が臨時の証明書となる。また、別の形の証明書の発行を望まれる方には、柔軟に対応する。

接種後の経済対策

議員 接種が終了するまでと、終了した後の経済

対策は。

町長 町ではコロナ禍での経済、生活関連の対策として、昨年4月以降「感染拡大防止」「経済の回復」「住民への生活支援」「雇用の確保と事業継承」の4つの視点から、町独自の対応を実施。特に経済回復の支援については、町商工会と情報共有を図り、現状の把握、実情に応じた対策を講じながら「事業の継続」「消費の喚起」「地元購買力の向上」に努めてきた。

また、新たな経済対策として7月から「ダブルプレミアム付商品券（エンジンジョイチケット）」の販売を開始しており、事業の継続を支援していく。今後も、商工業、観光業等においては依然厳しい状況が続くと思われるが、動向を注視しながら必要な対策を講じていく。